



水口三筋町東側のからくり時計



水口旧東海道の道筋にあったハナミズキ



善福寺境内の八重桜



高札場跡の看板



旧水口宿脇本陣

この建物は、水口宿の脇本陣の一部とされ、文久三年（一八六三）の「水口宿内軒別書上帳」の中に記述がみられることから、一九世紀前半の建築と推定されています。現在残る建物は当時の一部のみとなつていますが、脇本陣の特徴である大きな間口・奥行が見られ、もとの家屋規模は水口随一の大型町家であつたと想像できます。その構造や蓑股などの装飾は石部宿や土山宿の本陣にも類似性が見られます。

（甲賀市観光協会）

旧水口宿脇本陣看板



旧水口宿脇本陣の軒下の蓑股（彫刻されている蓑股）



水口神社各町内の山車



水口神社各町内の山車前で